

資料目次

資料 1	高校生を対象としたアンケート調査 集計結果 他	P. 2
資料 2	18 歳人口（男女別）の将来推計	P. 14
資料 3	大学入学者数等の将来推計について	P. 15
資料 4	入学状況（データで見る熊本大学 2024 抜粋）	P. 17
資料 5	18 歳人口予測 大学・短大・専門学校進学率 地元残留率の 動向	P. 18
資料 6	熊本大学文学部 競合校の入試状況（令和 4～6 年度）	P. 27
資料 7	熊本大学各学部・学環の定員充足等の状況（令和 2～6 年度）	P. 28
資料 8	企業・自治体等を対象としたアンケート調査 集計結果 他	P. 29

高校生を対象としたアンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

Q1. あなたが在籍している高校名をご入力ください。

選択項目	回答数	構成比
熊本県		
1 済々黌高等学校	240	3.6%
2 熊本高等学校	347	5.2%
3 第一高等学校	288	4.4%
4 第二高等学校	370	5.6%
5 熊本西高等学校	251	3.8%
6 熊本北高等学校	244	3.7%
7 東稜高等学校	312	4.7%
8 玉名高等学校	223	3.4%
9 鹿本高等学校	139	2.1%
10 菊池高等学校	22	0.3%
11 大津高等学校	229	3.5%
12 小国高等学校	32	0.5%
13 宇土高等学校	106	1.6%
14 水俣高等学校	71	1.1%
15 人吉高等学校	146	2.2%
16 天草高等学校	193	2.9%
17 熊本商業高等学校	205	3.1%
18 熊本工業高等学校	331	5.0%
19 熊本農業高等学校	227	3.4%
20 必由館高等学校	287	4.3%
21 千原台高等学校	117	1.8%
22 九州学院高等学校	214	3.2%
23 真和高等学校	168	2.5%
24 熊本学園大学付属高等学校	238	3.6%
25 熊本マリスト学園高等学校	49	0.7%
26 ルーテル学院高等学校	235	3.6%
27 文徳高等学校	199	3.0%
28 湧心館高等学校	19	0.3%
福岡県		
29 伝習館高等学校	179	2.7%
30 久留米高等学校	116	1.8%
31 大牟田高等学校	87	1.3%
32 明善高等学校	27	0.4%
佐賀県		
33 佐賀清和高等学校	35	0.5%
長崎県		
34 島原高等学校	127	1.9%
35 長崎北陽台高等学校	97	1.5%
36 長崎西高等学校	7	0.1%
大分県		
37 大分舞鶴高等学校	99	1.5%
38 大分上野丘高等学校	12	0.2%
宮崎県		
39 宮崎北高等学校	16	0.2%
40 妻高等学校	3	0.0%
鹿児島県		
41 甲南高等学校	139	2.1%
42 鶴丸高等学校	91	1.4%
43 鹿児島中央高等学校	72	1.1%
既卒	1	0.0%
合計	6,610	100.0%

Q2. あなたの現在の学年をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1 高校1年	18	0.3%
2 高校2年	6580	99.5%
3 高校3年	11	0.2%
4 既卒	1	0.0%
合計	6,610	100.0%

※Q3以降は、Q2で高校2年と回答したものを対象とした集計結果である。

Q3. あなたが在籍している高校のクラス・コースをお答えください。

選択項目		回答数	構成比
1	文系クラス・コース	2,697	41.0%
2	理系クラス・コース	2,605	39.6%
3	その他	1,278	19.4%
合計		6,580	100.0%

Q4. あなたの性別をお答えください。

選択項目		回答数	構成比
1	男性	3,041	46.2%
2	女性	3,442	52.3%
3	回答しない	97	1.5%
合計		6,580	100.0%

Q5. あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。現在検討している進路全てを選択してください。(複数選択可)

選択項目		回答数	構成比
1	大学	5,413	73.1%
2	短期大学	214	2.9%
3	専門職大学	110	1.5%
4	専門職短期大学	44	0.6%
5	専門学校	866	11.7%
6	就職	666	9.0%
7	その他	88	1.2%
合計		7,401	100.0%

Q6. 志望する大学等の設置者の希望を選択してください。現在希望している設置者全てを選択してください。(複数選択可)

Q5で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択していない方は、『該当なし』を選択してください。

選択項目		回答数	構成比
1	国立	3,632	39.1%
2	公立	2,215	23.9%
3	私立	2,389	25.7%
4	該当なし	1,043	11.2%
合計		9,279	100.0%

Q7. 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。興味のある学問分野全てを選択してください。(複数選択可)

選択項目		回答数	構成比
1	文学	795	5.7%
2	史学	275	2.0%
3	哲学	291	2.1%
4	その他人文学	277	2.0%
5	法学・政治学	594	4.3%
6	商学・経済学	1,042	7.5%
7	社会学	420	3.0%
8	その他社会科学	110	0.8%
9	数学	209	1.5%
10	物理学	190	1.4%
11	化学	239	1.7%
12	生物	234	1.7%
13	地学	57	0.4%
14	その他理学	67	0.5%
15	機械工学	534	3.8%
16	電気通信工学	494	3.6%
17	土木建築工学	375	2.7%
18	応用化学	156	1.1%
19	応用理学	92	0.7%
20	経営工学	140	1.0%
21	その他工学	133	1.0%
22	農学	200	1.4%
23	農芸化学	47	0.3%

24	農業工学	55	0.4%
25	農業経済学	48	0.3%
26	林学	30	0.2%
27	獣医学畜産学	103	0.7%
28	水産学	58	0.4%
29	その他農学	33	0.2%
30	医学	388	2.8%
31	歯学	140	1.0%
32	薬学	321	2.3%
33	看護学	542	3.9%
34	その他保健	413	3.0%
35	商船学	26	0.2%
36	家政学	45	0.3%
37	食物学	188	1.4%
38	被服学	55	0.4%
39	住居学	30	0.2%
40	その他家政	7	0.1%
41	教育学	446	3.2%
42	小学校課程	287	2.1%
43	中学校課程	374	2.7%
44	高等学校課程	307	2.2%
45	養護学校課程	100	0.7%
46	幼稚園課程	213	1.5%
47	体育学	194	1.4%
48	特別支援教育課程	76	0.5%
49	その他教育	38	0.3%
50	美術	192	1.4%
51	デザイン	329	2.4%
52	音楽	193	1.4%
53	その他芸術	99	0.7%
54	教養学	40	0.3%
55	総合科学	81	0.6%
56	人文・社会科学	146	1.0%
57	国際学(国際学部)	385	2.8%
58	人間科学	177	1.3%
59	その他	425	3.1%
60	不明	354	2.5%
合計		13,909	100.0%

ここからは別紙・文学部人文科学科(仮称)リーフレットを参照の上、お答えください。

Q8. 文学部人文科学科(仮称)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたほどの程度魅力を感じますか。

Q8-A. 志望時点で所属学科を決めることなく、1年次に文学部を構成する学問分野を広く学んだうえで、希望のコースを選択することができる

選択項目		回答数	構成比
1	とても魅力を感じる	2,040	31.0%
2	ある程度魅力を感じる	3,123	47.5%
3	あまり魅力を感じない	925	14.1%
4	全く魅力を感じない	492	7.5%
合計		6,580	100.0%

Q8-B. 従来からの学問体系を継承するコースを設け、専門性を深めていくことができる

選択項目		回答数	構成比
1	とても魅力を感じる	1,546	23.5%
2	ある程度魅力を感じる	3,627	55.1%
3	あまり魅力を感じない	936	14.2%
4	全く魅力を感じない	471	7.2%
合計		6,580	100.0%

Q8-C. 幅広く豊かな教養と人文・社会科学に関する確かな専門的知識を有し、社会に貢献できる人材を育成する

選択項目		回答数	構成比
1	とても魅力を感じる	1,674	25.4%
2	ある程度魅力を感じる	3,559	54.1%
3	あまり魅力を感じない	878	13.3%

4	全く魅力を感じない	469	7.1%
合計		6,580	100.0%

Q9. 文学部人文科学科(仮称)が開設された場合、受験を希望しますか。現在のあなたの考えに近い選択肢を次より1つ選択してください。

選択項目		回答数	構成比
1	第一志望として受験する	275	4.2%
2	第二志望として受験する	410	6.2%
3	第三志望として受験する	515	7.8%
4	受験しない	5,380	81.8%
合計		6,580	100.0%

Q10. 文学部人文科学科(仮称)を受験した合格した場合、入学を希望しますか。現在のあなたの考えに近い選択肢を次より1つ選択してください。

選択項目		回答数	構成比
1	入学する	522	7.9%
2	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,108	16.8%
3	入学しない	1,150	17.5%
4	該当なし	3,800	57.8%
合計		6,580	100.0%

令和6年12月18日

各高等学校長 殿

国立大学法人熊本大学長

小川 久雄（公印省略）

令和8年度新設・改組予定学部に関するアンケート調査へのご協力について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育研究活動につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、令和8年4月に新たな学部相当組織として「共創学環（仮称）」を新設し、さらに、佐賀大学との連携した教育学部共同教員養成課程及び文学部の一学科改組を予定しております。

現在、共創学環の設置、教育学部及び文学部の改組に向けて、文部科学省への設置申請手続きを進めているところであり、申請に際しては、学生の確保の見通しについて書類を作成し説明することが求められております。

ついては、貴校の2年生を対象にアンケート調査を実施させていただきたく存じますので、お忙しい中、大変恐縮ではございますが、アンケート実施にご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

文学部人文科学科(仮称)に関するアンケートについて

熊本大学文学部では、人文・社会科学諸分野を横断する包括的・総合的な教育・研究を展開し、人文・社会科学の学問を通して、他者と共有、共感しあい、社会や心の豊かさを探求することを目的とし、現行の4学科から1学科へ改組し、「人文科学科(仮称)」を令和8年4月に設置することを構想しています。

本アンケートは、高校生の皆様に、進路選択や興味関心がある分野、文学部「人文科学科(仮称)」への興味関心などをお伺いし、今後の検討を進めていくための参考とするものです。

については、以下の回答方法に基づき、アンケートへの回答にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、本アンケート調査は匿名で実施し、統計資料としてのみ活用するため、個人を特定することはありません。また、本アンケートへの回答内容は、今後の入学者選抜に一切影響しません。

【対象学年】 2年生

【アンケート回答方法】

- ① 右のQRコードを読み込み、アンケートの回答画面に進んでください。



※以下のURLからでも回答できます。

<https://www.ocans.jp/kyousou-kumamoto/enquete?eid=kzcxRWQ3>

- ② 別添のリーフレットを適宜参照しながら、アンケートに回答してください。

回答期限【令和7年1月31日(金)まで】

※文学部人文科学科(仮称)は現在、設置構想中であり、今後内容を変更する場合があります。

熊本大学 文学部人文科学科（仮称）に関するアンケート

熊本大学文学部では、2026年4月に「人文科学科（仮称）」を設置する計画を構想中です。リーフレットを参照の上、文学部人文科学科（仮称）への進学意向に関する調査にご協力をお願いいたします。

なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。取得した情報については、統計的に処理の上、回答をそのままの形で公表すること及び個人が特定できる形で公表することは一切ありません。

また、回答内容は、今後の入学者選抜に一切影響しません。

※設置計画は予定であり、今後内容に変更が生じる可能性があります。

Q1. あなたが在籍している高校名をご入力ください。 (必須)

既卒の方は、「既卒」と入力してください。

Q2. あなたの現在の学年をお答えください。 (必須)

高校1年	高校2年	高校3年	既卒
------	------	------	----

Q3. あなたが在籍している高校のクラス・コースをお答えください。 (必須)

文系クラス・コース	理系クラス・コース	その他 <input type="text"/>
-----------	-----------	-----------------------------

Q4. あなたの性別をお答えください。 (必須)

男性	女性	回答しない
----	----	-------

Q5. あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。現在検討している進路全てを選択してください。 (複数選択可) (必須)

大学	短期大学	専門職大学	専門職短期大学
専門学校	就職	その他 <input type="text"/>	

Q6. 志望する大学等の設置者の希望を選択してください。現在希望している設置者全てを選択してください。(複数選択可) (必須)

Q4で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択していない方は、『該当なし』を選択してください。

国立	公立	私立	該当なし
----	----	----	------

Q7. 高校を卒業後、学びたいと考えている

興味のある学問分野を次の中から選択してください。興味のある学問分野全てを選択してください。

人文科学／社会科学／理学／工学／農学／保健
 人文科学 社会科学 理学 工学 農学
 保健 商船 家政 教育 芸術 その他
／商船／家政／教育／芸術／その他

(複数選択可) (必須)

須)

上記分類にチェックを入れると、その分類の選択肢がグループ化されます。

文学	史学	哲学	その他人文科学
法学・政治学	商学・経済学	社会学	その他社会科学
数学	物理学	化学	生物
地学	その他理学	機械工学	電気通信工学
土木建築工学	応用化学	応用理学	経営工学
その他工学	農学	農芸化学	農業工学
農業経済学	林学	獣医学畜産学	水産学
その他農学	医学	歯学	薬学
看護学	その他保健	商船学	家政学
食物学	被服学	住居学	その他家政

教育学	小学校課程	中学校課程	高等学校課程
養護学校課程	幼稚園課程	体育学	特別支援教育課程
その他教育	美術	デザイン	音楽
その他芸術	教養学	総合科学	人文・社会科学
国際学（国際学部）	人間科学	その他	不明

ここからは別紙・文学部人文科学科（仮称）リーフレットを参照の上、お答えください。

Q8. 文学部人文科学科（仮称）には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。

Q8-A. 志望時点で所属学科を決めることなく、1年次に文学部を構成する学問分野を広く学んだうえで、希望のコースを選択することができる（必須）

とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない
-----------	------------	------------	-----------

Q8-B. 従来からの学問体系を継承するコースを設け、専門性を深めていくことができる（必須）

とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない
-----------	------------	------------	-----------

Q8-C. 幅広く豊かな教養と人文・社会科学に関する確かな専門的知識を有し、社会に貢献できる人材を育成する（必須）

とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない
-----------	------------	------------	-----------

Q9. 文学部人文科学科（仮称）が開設された場合、受験を希望しますか。現在のあなたの考えに近い選択肢を次より1つ選択してください。（必須）

第一志望として受験
する

第二志望として受験
する

第三志望として受験
する

受験しない

Q10. 文学部人文科学科（仮称）を受験した合格した場合、入学を希望しますか。現在のあなたの考えに近い選択肢を次より1つ選択してください。（必須）

Q9で「受験しない」を選択された方は、『該当なし』を選択してください。

入学する

志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

入学しない

該当なし

送信確認

本サイトは、SSL/TLSによる暗号化通信に対応しています。

- Q** コミュニケーション情報学コースがなくなるのですか？
改組後もコミュニケーション情報学の内容を学びたいのですが、どのコースで学べますか？
- A** 所属コースは、1年次末に希望調査を行い、原則として本人の希望に応じてコースを決定します。希望者が集中した場合には第2希望・第3希望のコースに所属することもあります。また、コースで学ぶなかで、転コースした方がより適切な指導を受けられる場合には、コース変更も可能です。
- Q** 所属コースはいつ決まるのですか？変更は可能でしょうか？
- A** 所属コースは、1年次末に希望調査を行い、原則として本人の希望に応じてコースを決定します。希望者が集中した場合には第2希望・第3希望のコースに所属することもあります。また、コースで学ぶなかで、転コースした方がより適切な指導を受けられる場合には、コース変更も可能です。

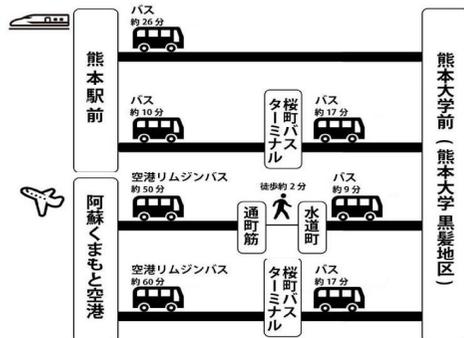
学位	取得可能な資格		
学士(文学)	①教員職員免許状 (すべて1種免許状)	英語(中・高)/国語(中・高)/社会(中)/ 地理歴史(高)/公民(高)	②学芸員資格
入学定員	③公認心理師*	*取得には大学院博士前期課程の 修了が必要です	④社会調査士
160名			

学生納付金	
入学科	授業料*
282,000円	前期分:267,900円 後期分:267,900円 / 年額:535,800円

*今後の改正等により、内容や金額が変更となる場合があります。

入試日程

	入学者選抜要項 公表	学生募集要項 公表	大学入学共通テスト	試験日程	合格発表
一般選抜前期日程	令和7年7月 (予定)	令和7年9月 (予定)	令和8年1月	令和8年2月 (予定)	令和8年3月上旬 (予定)
一般選抜後期日程				令和8年3月 (予定)	令和8年3月下旬 (予定)
学校推薦型選抜I* (*大学入学共通テストを課さない)			令和7年11月 (予定)	令和7年12月上旬 (予定)	
私費外国人留学生選抜			令和8年2月 (予定)	令和8年3月上旬 (予定)	



<お問い合わせ>
 熊本大学 教育研究支援部 人教・教育系事務課
 文学部教務担当
 〒860-8555 熊本中央区黒髪2丁目39番1号
 TEL:096-342-2317, 2323
 E-mail:jsj-bungaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp
 https://www.kumamoto-u.ac.jp



※改組構想中のため、本内容は今後変更になることがあります。

文学部が生まれ変わります！

人文科学科 (仮称)

Department of Humanities

2026年4月 改組予定！

4学科から1学科へ

- ★総合人間学科 (入学定員: 55名)
- ★歴史学科 (入学定員: 35名)
- ★文学科 (入学定員: 50名)
- ★コミュニケーション情報学科 (入学定員: 30名)

人文科学科 (仮称)

入学定員
170名

入学定員(予定)
160名

強み・特徴

Point 1

志望時点で所属学科を決めることなく、1年次に文学部を構成する学問分野を広く学んだうえで、希望のコースを選択することができる

Point 2

従来からの学問体系を継承するコースを設け、専門性を深めていくことができる

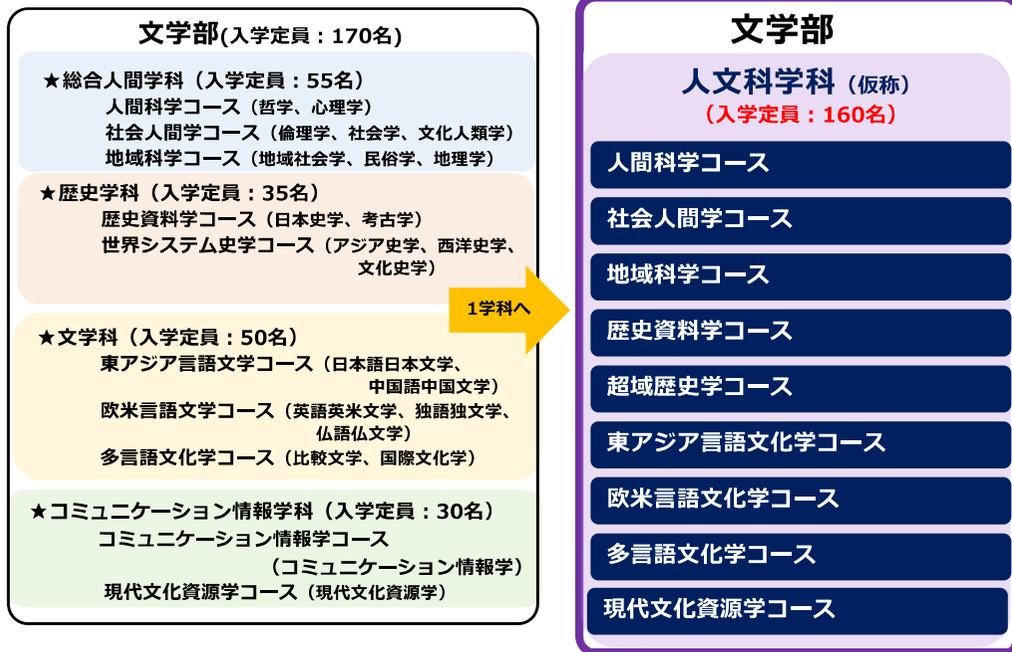
Point 3

幅広く豊かな教養と人文・社会科学に関する確かな専門的知識を有し、社会に貢献できる人材を育成

未来の可能性が広がる、文学部での新たな学び。

従来の4学科から1学科へ変わることにより、志望時点で所属学科を決めることなく、1年次に文学部を構成する学問分野を広く学んだうえで、希望のコースを選択することができます。

また、組織改編後において、原則、従来からの学問体系を継承するコースを設け、専門性を深めていくことができます。



◆卒業認定・学位授与の方針 DP(ディプロマ・ポリシー)(抜粋)

文学部は、学士課程教育において、人文・社会科学諸分野を横断する包括的・総合的な教育・研究を展開し、「創造的な知性をもって自ら課題を発見し解決する実践的な能力及び現代を生きる人間に必要なグローバルな視野と市民的公共心を備え、他者と共有、共感しあい、社会や心の豊かさを探求することができる」人材の育成を目標としています。

このことを踏まえ、教養教育にて修得する幅広い分野の知識を素地とし、各コースにおいて修得する分野の特性に応じた知識・能力に基づいて本学が定める学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した人に学士(文学)の学位を授与します。

◆教育課程編成・実施の方針 CP(カリキュラム・ポリシー)(抜粋)

文学部は、現代の人間・社会のあり方、歴史社会のあり方、人間の言語・文化のあり方を論理的に分析できる人材を養成するために、各コースの学問体系を基盤とした教育課程を編成しています。1年次には、幅広い知識や多様な考え方・アプローチ・方法を獲得・理解するための教養教育科目ならびに文学部で開講する各学問領域の基礎的専門科目を全て履修できるようにし、2年次に全てのコースから配属先を選択できるように配置します。3・4年次には、高度な専門的授業科目を置き、将来の進路に即した科目履修を保証するように編成しています。そのため、各コースが挙げる体系的、段階性、個別化(進路への対応)をもとにカリキュラムを編成しています。

◆入学者受入れの方針 AP(アドミッション・ポリシー)(抜粋)

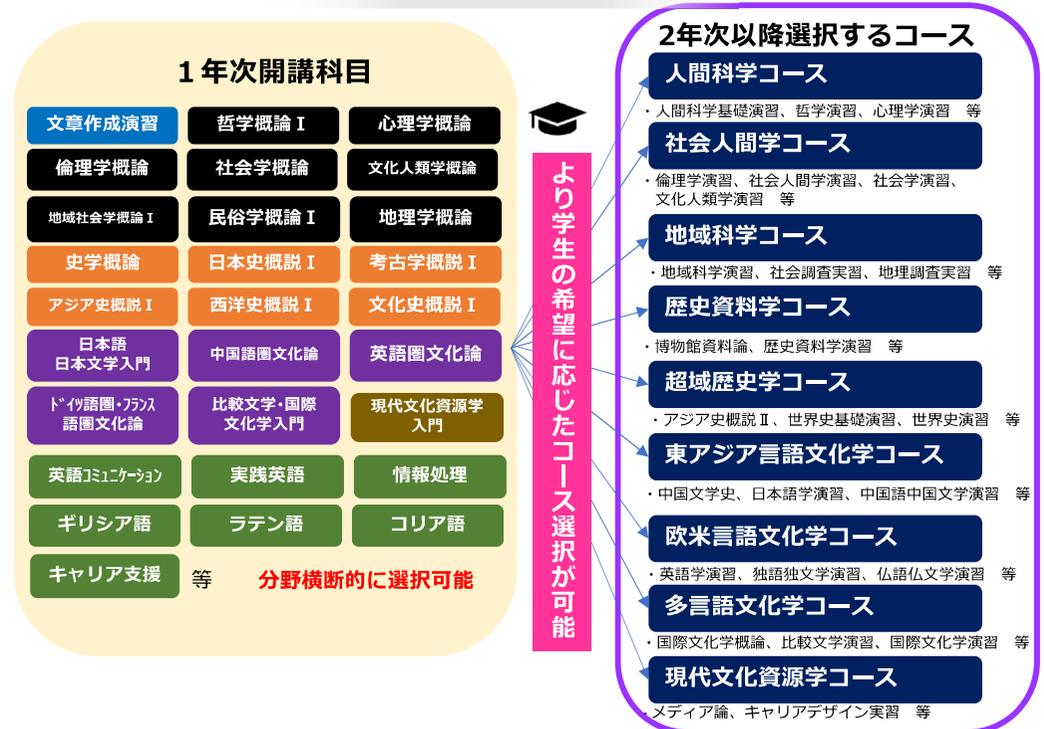
文学部では次のような人を求めます。

1. これまでに幅広く学習に取り組み、本学部の授業を受けることができる学力を有する人。
2. 人間・社会のあり方、歴史社会のあり方、人間の言語・文化のあり方、現代社会の課題解決に関心が高い人。
3. 専門的知識の修得に意欲を持ち、修得した知識・能力を将来の進路に活かそうとする意欲が高い人。

学生確保(資料) - 13

- 1年次に教養科目及び各コースの基礎的な知識を学ぶ「概論」、「概説」に加え、大学での学習の基礎を修得する「文章作成演習」を開講します。また、原則として学生の希望に応じてコース分けを実施し、2年次から専門コースに所属します。

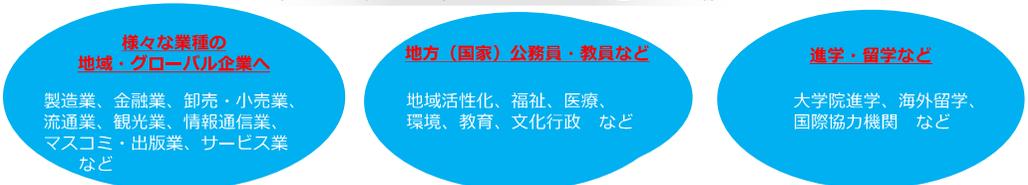
人文科学科カリキュラム構成(案)



カリキュラム

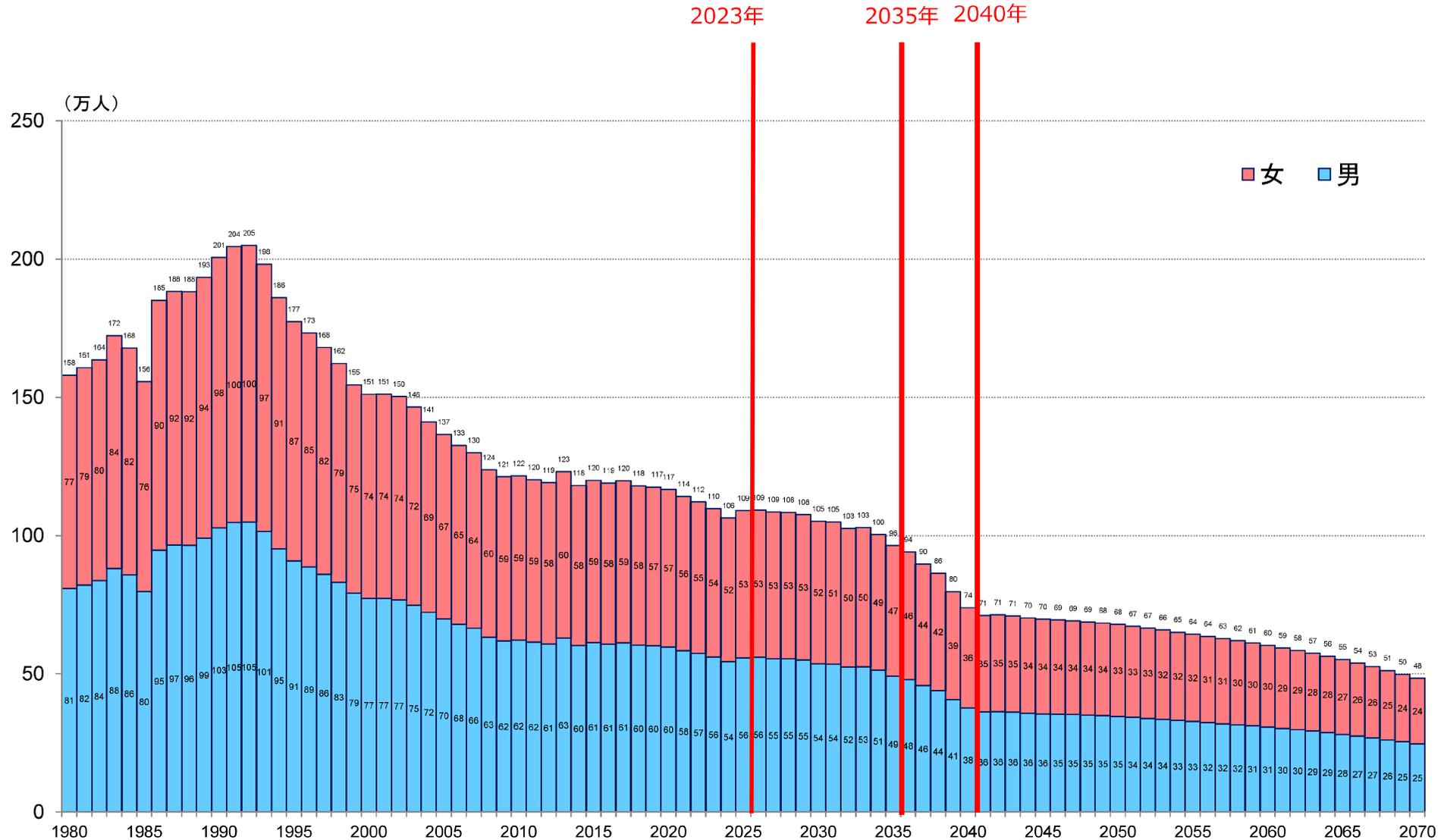
	1年次	2年次	3年次	4年次
人文科学科	1年次には、幅広い知識や多様な考え方・アプローチ・方法を獲得・理解するための教養教育科目(基礎科目、現代教養科目、リベラルアーツ科目、キャリア科目、Multidisciplinary Studies、開放科目など)ならびに上記の文学部で1年次に開講する各学問領域の基礎的専門科目を履修します。	希望するコースに所属し、コースにおける専門基礎科目、専門科目(基盤科目、展開科目)を履修します。	2年次から履修する科目に加えて、卒業論文の執筆に向けた課題研究を行います。	専門科目(展開科目)を履修するとともに、卒業論文の執筆に向けた課題研究を行い、卒業論文を執筆します。
	学生の希望に応じて、以下の科目を受講することができます。			
	・ 選択科目(文学部や他学部の専門教育科目)			
	・ 学部共通科目(ジェンダー入門 等)			
	・ 資格科目(教員免許科目、社会調査士資格科目、学芸員資格科目、公認心理師資格科目)			

卒業後の進路



18歳人口(男女別)の将来推計

- 我が国の18歳人口の推移を見ると、2005年には約137万人であったものが、現在は約109万人まで減少している。
- 今後、2035年には初めて100万人を割って約96万人となり、さらに2040年には約74万人にまで減少するという推計もある。



(出典) 2027年以前は文部科学省「学校基本統計」、
2028年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）（出生低位・死亡低位）」を元に作成

(1) - 1 - 5

出典：大学分科会（第181回）・高等教育の在り方に関する特別部会（第15回）合同会議資料抜粋

大学入学者数等の将来推計について【推計の考え方】①

推計の考え方

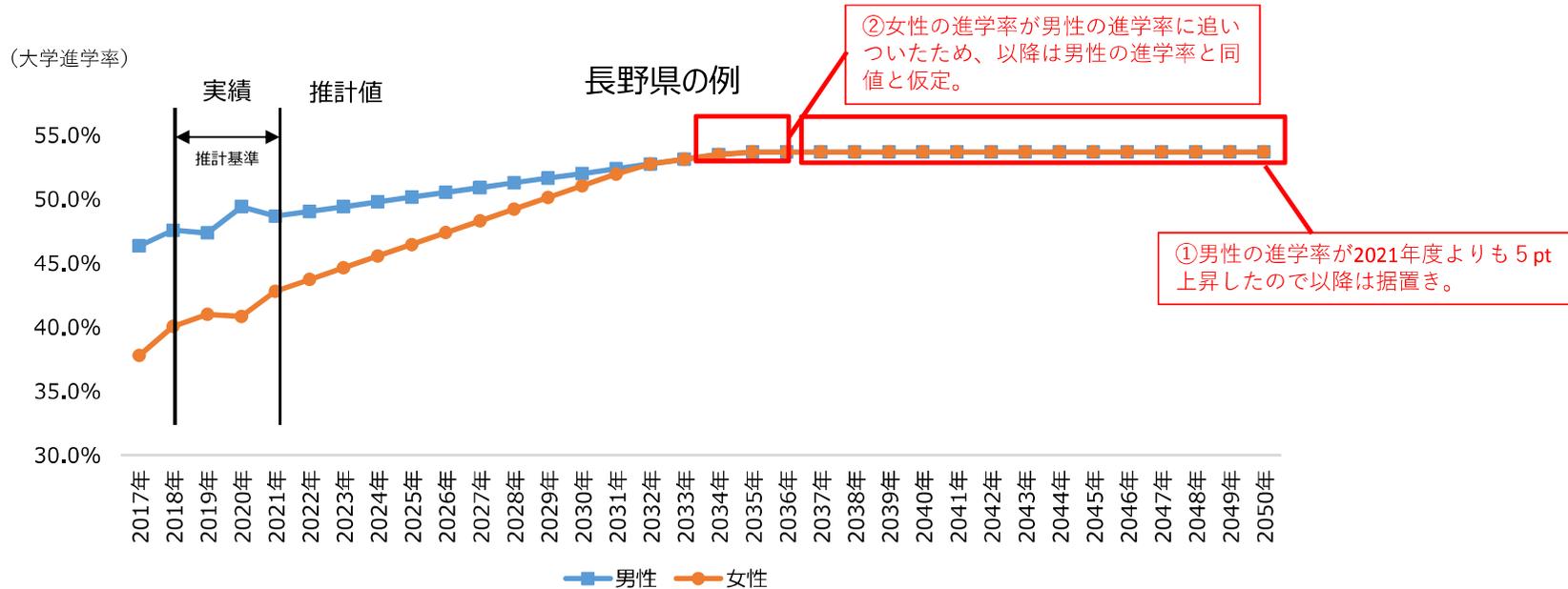
将来の大学入学者数（E）は、推計18歳人口（B）に推計大学進学率（A）を掛けて算出される各都道府県からの大学進学者数（C）に、外国人留学生（D）等を足すことによって求められる。

A. 大学進学率の推計について

- 2018年度～2021年度における都道府県別、男女別の大学進学率の伸び率によって今後2050年まで大学進学率が上昇すると仮定して都道府県別に推計。

（例外）

- ① 男性の進学率が2021年度と比較して5pt以上上回った場合、+5ptを上限として以降据置き。
- ② 女性の進学率が男性の進学率を上回った場合、以降を男性の進学率と同値と仮定。
- ③ 進学率伸び率がマイナスの場合、2021年度の大学進学率が今後維持されると仮定。



(5) - 1 - 2

大学入学者数等の将来推計について【推計の考え方】②

B.18歳人口の推計について

- 2040年から2050年までの18歳人口について以下の推計方法により都道府県別に18歳人口を推計。
日本の将来推計18歳人口（国立社会保障・人口問題研究所の推計）を2040年の都道府県比率※で案分
※ 2021年度中の出生者数に各都道府県の生存率を乗算することにより、大学等に入学することが想定される2040年4月時点の18歳人口の都道府県比率を算出

C.各都道府県からの大学進学者数

- 各都道府県の推計18歳人口（B）に各都道府県の大学進学率（A）を掛けたものを合計することにより算出。

D.外国人留学生の入学者数の推計について

- 2020年度～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により外国人留学生数が一時的に激減したことを踏まえ、2019年度の外国人留学生数が維持されると推定。

E.大学入学者数の推計について

- 各推計値に基づく（B）×（A）による都道府県別の大学進学者数の合計（C）に（D）及びその他を足したものが2040年以降の大学入学者数の推計値となる。
※その他は高等学校卒業程度認定試験合格者・専修学校高等課程修了者で大学に進学した者（各年の進学者数の推計値に2019年の進学者数に占めるその他の比率を掛けることにより算出）

【（例）2040年の大学入学者数推計】

(B.18歳人口推計)

北海道18歳人口（男性）13,031人 × 北海道進学率（男性）56.9% = 7,413人
 北海道18歳人口（女性）12,408人 × 北海道進学率（女性）56.9% = 7,059人
 青森県 …
 …

(A.大学進学率推計)

沖縄県18歳人口（男性）6,699人 × 沖縄県進学率（男性）47.5% = 3,181人
 沖縄県18歳人口（女性）6,383人 × 沖縄県進学率（女性）47.5% = 3,031人

北海道進学者数 14,472人

⋮

沖縄県進学者数 6,212人

大学進学率（全国）59.6%
 （男性）61.2% （女性）57.9%

(C.2040年の各都道府県からの大学進学者数)

440,489人

(D.2040年の推計外国人留学生入学者数)

(その他)

440,489人

+ 17,096人

+ 2,172人

(E.2040年の推計大学入学者数)

459,757人

※四捨五入の関係上、四則演算の値と記載の数値は必ずしも一致しない

大学入学定員の総数
631,949人 (R5)

(注) グランドデザイン答申時の推計について

881,782人（推計18歳人口）×55.5%（大学進学率）（※）+16,724人（外国人留学生等）=506,005人

（※）GD答申時は外国人留学生も含めて進学率を57.4%としていたが、18歳人口推計値に訪日予定の外国人等は含まれていないため上記の記載としている。

4 入学状況

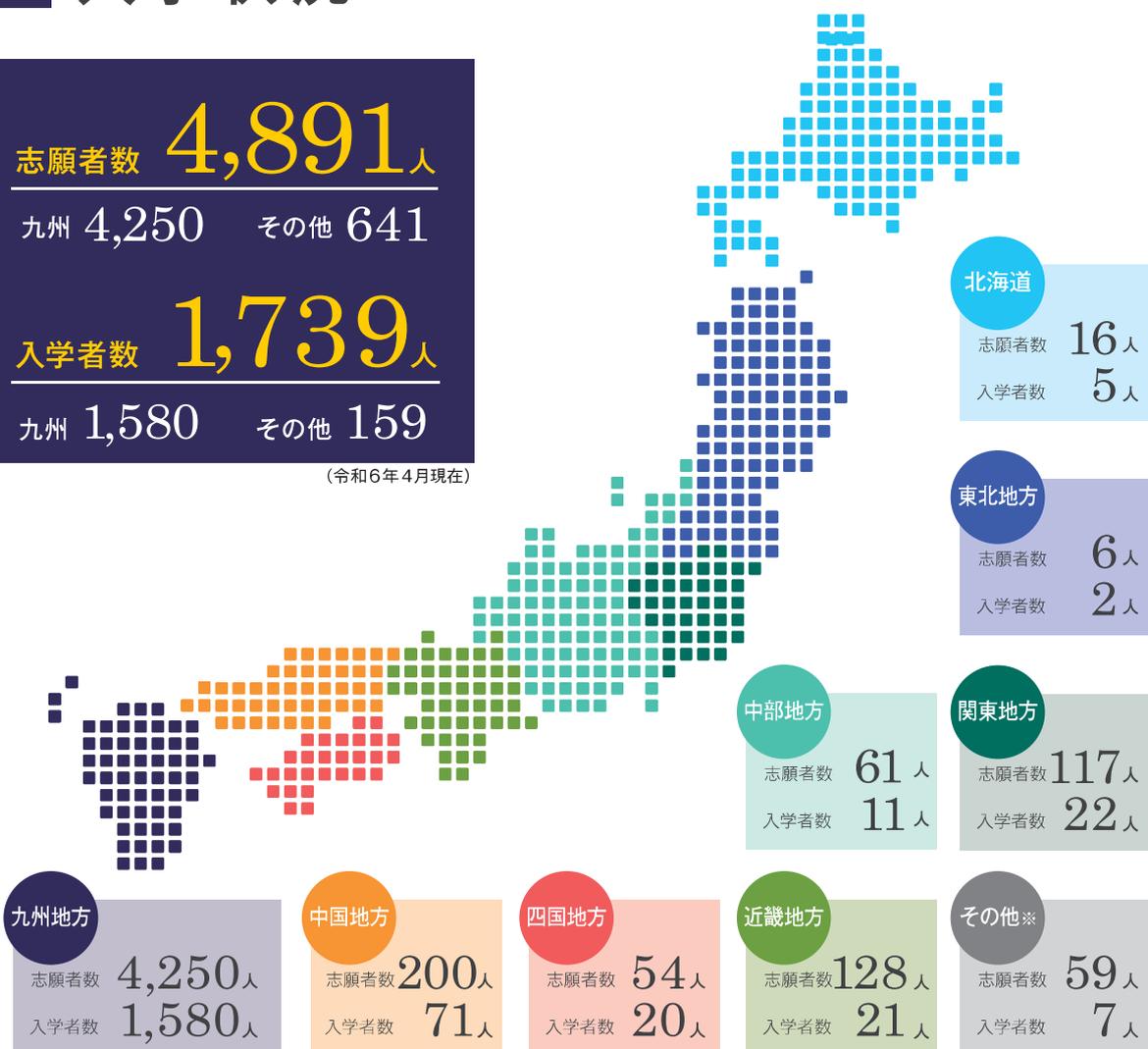
志願者数 **4,891**人

九州 4,250 その他 641

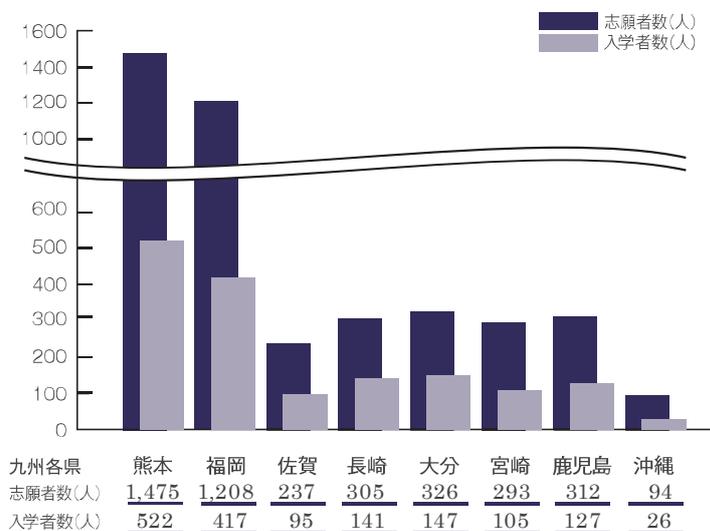
入学者数 **1,739**人

九州 1,580 その他 159

(令和6年4月現在)



※高卒認定試験合格者、私費外国人留学生など



区分	入学定員	入学者	
文学部	170人	178人	
教育学部	220人	235人	
法学部	200人	202人	
理学部	190人	204人	
医学部	医学科	110人	112人
	保健学科	144人	151人
薬学部	90人	96人	
工学部	473人	493人	
情報融合学環	60人	68人	
合計	1,657人	1,739人	

熊本大学文学部人文科学科 競合校の入試状況(令和4～6年度)

●新潟大学文学部人文科学科

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	210	210	210	210
志願者数(B)	851	768	750	789.7
志願倍率(B/A)	4.1	3.7	3.6	3.8
入学者数(C)	218	214	221	217.7
入学定員充足率(C/A)	103.8%	101.9%	105.2%	103.7%

●信州大学文学部人文科学科

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	155	155	155	155
志願者数(B)	669	638	743	683.3
志願倍率(B/A)	4.3	4.1	4.8	4.4
入学者数(C)	164	165	174	167.7
入学定員充足率(C/A)	105.8%	106.5%	112.3%	108.2%

●広島大学文学部人文科学科

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	130	130	130	130
志願者数(B)	450	356	347	384.3
志願倍率(B/A)	3.5	2.7	2.7	3.0
入学者数(C)	146	137	131	138.0
入学定員充足率(C/A)	112.3%	105.4%	100.8%	106.2%

●山口大学文学部人文科学科

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	185	185	185	185
志願者数(B)	682	1011	775	822.7
志願倍率(B/A)	3.7	5.5	4.2	4.4
入学者数(C)	192	192	195	193.0
入学定員充足率(C/A)	103.8%	103.8%	105.4%	104.3%

●九州大学文学部人文科学科

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3年平均
入学定員(A)	151	151	151	151
志願者数(B)	526	488	663	559.0
志願倍率(B/A)	3.5	3.2	4.4	3.7
入学者数(C)	162	162	161	161.7
入学定員充足率(C/A)	107.3%	107.3%	106.6%	107.1%

【出典】各大学のWebページにおいて公表している入試実施結果情報を基に作成

熊本大学各学部・学環の定員充足等の状況(令和2～6年度)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
文学部	入学者数	180	185	179	175	178
	充足率	106%	109%	105%	103%	105%
	志願倍率	3.7	3.5	3.4	2.9	3.1
教育学部	入学者数	242	242	229	233	235
	充足率	105%	105%	104%	106%	107%
	志願倍率	2.4	2.4	2.1	2.4	2.1
法学部	入学者数	214	215	217	211	202
	充足率	102%	102%	103%	100%	101%
	志願倍率	3.1	3.3	2.9	3.0	2.6
理学部	入学者数	204	202	202	207	204
	充足率	102%	101%	101%	104%	107%
	志願倍率	3.4	3.6	2.8	3.6	4.4
医学部	入学者数	256	255	257	260	263
	充足率	101%	100%	101%	102%	104%
	志願倍率	3.8	2.9	3.3	3.1	3.3
薬学部	入学者数	95	89	96	96	96
	充足率	106%	99%	107%	107%	107%
	志願倍率	3.8	4.0	3.9	3.8	3.9
工学部	入学者数	518	518	520	532	493
	充足率	101%	101%	101%	104%	104%
	志願倍率	2.5	2.2	2.3	2.1	2.4
情報融合学環	入学者数	(開設前)	(開設前)	(開設前)	(開設前)	68
	充足率					113%
	志願倍率					3.9
大学全体の志願倍率		3.0	2.9	2.7	2.8	3.0

企業・自治体等を対象としたアンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

Q1. 貴社・貴機関の本社等の所在地について

選択項目		回答数	構成比
1	熊本県	80	52.6%
2	福岡県	16	10.5%
3	関東地方	13	8.6%
4	近畿地方	12	7.9%
5	中部地方	9	5.9%
6	宮崎県	4	2.6%
7	佐賀県	2	1.3%
8	長崎県	2	1.3%
9	鹿児島県	1	0.7%
10	大分県	1	0.7%
11	その他	12	7.9%
合計		152	100.0%

Q2. 貴社・貴機関の主たる業種について

選択項目		回答数	構成比
1	公務	37	24.3%
2	製造業	25	16.4%
3	建設業	17	11.2%
4	医療、福祉	14	9.2%
5	情報通信業	11	7.2%
6	卸売業、小売業	7	4.6%
7	その他サービス業	6	3.9%
8	宿泊業、飲食サービス業	6	3.9%
9	学術研究、専門・技術サービス業	5	3.3%
10	不動産業、物品賃貸業	5	3.3%
11	運輸業、郵便業	3	2.0%
12	金融業、保険業	3	2.0%
13	生活関連サービス業、娯楽業	3	2.0%
14	農業、林業、漁業、鉱業	3	2.0%
15	教育、学習支援	2	1.3%
16	電気・ガス・熱供給、水道業	1	0.7%
17	その他	4	2.6%
合計		152	100.0%

Q3. 貴社・貴機関の従業員数・職員数について

選択項目		回答数	構成比
1	50名未満	47	30.9%
2	50～100名未満	20	13.2%
3	100～300名未満	28	18.4%
4	300～1,000名未満	28	18.4%
5	1,000～3,000名未満	14	9.2%
6	3,000～10,000名未満	8	5.3%
7	10,000名以上	7	4.6%
合計		152	100.0%

Q4. 貴社・貴機関の名称について 【省略】

Q5.～Q8. 【省略】

ここからは、別添の文学部人文科学科(仮称)リーフレットをご覧の上、お答えください。

Q9. 熊本大学文学部人文科学科(仮称)は、「創造的な知性をもって自ら課題を発見し解決する実践的な能力及び現代を生きる人間に必要なグローバルな視野と市民的公共心を備え、他者と共有、共感しあい、社会や心の豊かさを探求することができる人材」の養成を目的としていますが、社会的なニーズ(必要性)についてお答えください。

選択項目		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	45	29.6%
2	ニーズはある程度高い	87	57.2%
3	ニーズはあまり高くない	5	3.3%
4	ニーズは高くない	0	0.0%
5	わからない	15	9.9%
合計		152	100.0%

Q10. 熊本大学文学部人文科学科(仮称)には以下のような特色があります。あなたが魅力を感じるものすべてを選択してください。(複数回答可)

	選択項目	回答数	構成比
1	9コース、21という多彩な教育研究領域による分野横断的な学び	56	17.5%
2	1年次の幅広い学びを踏まえ、2年次に専門コースを決定する柔軟なコース選択	60	18.8%
3	授業やフィールドワークを通じ、現代社会に対応した実践的教育	108	33.8%
4	個々の学生の関心に応じる少人数教育	40	12.5%
5	総合的なメディア・リテラシー教育	56	17.5%
	合計	320	100.0%

Q11. 熊本大学文学部人文科学科(仮称)が養成する人材を採用したいと思いませんか。

	選択項目	回答数	構成比
1	採用したい	86	56.6%
2	わからない	64	42.1%
3	採用したくない	2	1.3%
	合計	152	100.0%

Q12. Q11で「採用したい」とした場合、現時点の見通しとして採用可能人数(単年度)をお答えください。「採用したくない」又は「わからない」とした場合は、「該当なし」を選択してください。

	選択項目	回答数	構成比
1	1名	41	47.7%
2	2名	15	17.4%
3	3名	5	5.8%
4	4名	1	1.2%
5	5名以上	12	14.0%
6	該当なし	12	14.0%
	合計	86	100.0%

令和7年 3月 6日

人事・採用ご担当者 様

国立大学法人熊本大学

理事・副学長（新学環設置準備室長）

水元 豊文

令和8年度新設・改組予定学部に関するアンケート調査へのご協力について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育研究活動につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、令和8年4月に新たな学部相当組織として「共創学環（仮称）」の新設並びに文学部の一学科改組を予定しております。詳しくは、別添のリーフレットをご高覧ください。

現在、共創学環の設置及び文学部の改組に向けて、文部科学省への設置申請手続きを進めているところであり、申請に際して、当該教育組織が社会的・地域的なニーズや人材需要の動向を踏まえたものであることを示すため、教育内容や卒業生の採用について、ご意見・ご意向等をお伺いさせていただきたく存じます。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ですが、下記 URL（QR コード）により、アンケートにご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、アンケートで得られた回答内容は、統計資料としてのみ利用し、企業・自治体名等が掲載される形で公表することはありません。

敬具

記

【アンケートフォーム URL（QR コード）】

https://www.ocans.jp/kyousou-kumamoto/enquete?eid=afq_Z_CK



※大変恐縮ですが、令和7年3月31日（月）までにご回答いただきますようお願いいたします。 なお、期限までの回答が難しい場合は、下記担当へ遠慮なくご連絡ください。

※参考として、アンケート項目を添付しております。

※ご回答にあたっては、1機関あたり1回の回答をお願いいたします。

熊本大学 共創学環（仮称）、文学部人文科学科（仮称）に関するアンケート

熊本大学では、2026年4月開設に向けて、「共創学環（仮称）」「文学部人文科学科（仮称）」の設置計画を構想中です。リーフレットをご覧いただき、教育内容や養成する人材の採用意向に関する調査にご協力願います。なお、調査結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。なお、設置計画は予定であり、今後変更となる可能性があります。

問1. 貴社・貴機関の本社等の所在地について、該当するもの1つをご回答ください。（必須）

熊本県	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	宮崎県
鹿児島県	関東地方	近畿地方	中部地方	その他 <input type="text"/>	

問2. 貴社・貴機関の主たる業種について、最もあてはまるもの1つをご回答ください。（必須）

農業、林業、漁業、鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給、水道業	情報通信業	運輸業、郵便業
卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業
教育、学習支援	医療、福祉	その他サービス業	公務	その他 <input type="text"/>	

問3. 貴社・貴機関の従業員数・職員数について、あてはまるもの1つをご回答ください。（必須）

50名未満	50～100名未満	100～300名未満	300～1,000名未満
1,000～3,000名未満	3,000～10,000名未満	10,000名以上	

問4. 差し支えなければ、貴社・貴機関の名称をご記入ください。（ご回答は任意です。）

ここからは、別添の共創学環（仮称）リーフレットをご覧の上、お答えください。

問5. 熊本大学共創学環（仮称）は、「地球規模の視野と地域の視点で考え行動し、共生共創する地域をデザインできる課題発見・設定・解決型人材並びに社会イノベーションを創出する人材」の養成を目的としていますが、社会的なニーズ（必要性）についてお答えください。（必須）

ニーズは極めて高い	ニーズはある程度高い	ニーズはあまり高くない	ニーズは高くない	わからない
-----------	------------	-------------	----------	-------

問6. 熊本大学共創学環（仮称）には以下のような特色があります。あなたが魅力を感じるものすべてを選択してください。（複数回答可）（必須）

複数学部の協力による分野横断・文理融合型の学修	産学官金と連携し課題解決に取り組む社会実践教育
持続可能な社会に必要な経営・マネジメント教育	実践的な語学力・プレゼン・ディベート力を高めるコミュニケーション実践教育
データサイエンスの素養を身に付けるデジタル活用実践教育	

問7. 熊本大学共創学環（仮称）が養成する人材を採用したいと思いますか。（必須）

採用したい	採用したくない	わからない
-------	---------	-------

問8. 問7で「採用したい」とした場合、現時点の見通しとして採用可能人数（単年度）をお答えください。「採用したくない」又は「わからない」とした場合は、「該当なし」を選択してください。（必須）

1名	2名	3名	4名	5名以上	該当なし
----	----	----	----	------	------

ここからは、別添の文学部人文科学科（仮称）リーフレットをご覧ください。

問9. 熊本大学文学部人文科学科（仮称）は、「創造的な知性をもって自ら課題を発見し解決する実践的な能力及び現代を生きる人間に必要なグローバルな視野と市民的公共心を備え、他者と共有、共感しあい、社会や心の豊かさを探求することができる人材」の養成を目的としていますが、社会的なニーズ（必要性）についてお答えください。（必須）

ニーズは極めて高い	ニーズはある程度高い	ニーズはあまり高くない	ニーズは高くない	わからない
-----------	------------	-------------	----------	-------

問10. 熊本大学文学部人文科学科（仮称）には以下のような特色があります。あなたが魅力を感じるものすべてを選択してください。（複数回答可）（必須）

9コース、21という多彩な教育研究領域による分野横断的な学び	1年次の幅広い学びを踏まえ、2年次に専門コースを決定する柔軟なコース選択
授業やフィールドワークを通じ、現代社会に対応した実践的教育	個々の学生の関心に応じる少人数教育
総合的なメディア・リテラシー教育	

問11. 熊本大学文学部人文科学科（仮称）が養成する人材を採用したいと思いますか。（必須）

採用したい	採用したくない	わからない
-------	---------	-------

問12. 問11で「採用したい」とした場合、現時点の見通しとして採用可能人数（単年度）をお答えください。「採用したくない」又は「わからない」とした場合は「該当なし」を選択してください。（必須）

1名	2名	3名	4名	5名以上	該当なし
----	----	----	----	------	------

熊本大学共創学環（仮称）、文学部人文科学科（仮称）に対して期待される点やご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

送信確認

- Q** コミュニケーション情報学コースがなくなるのですか？改組後もコミュニケーション情報学の内容を学びたいのですが、どのコースで学べますか？
- A** 所属コースは、1年次末に希望調査を行い、原則として本人の希望に応じてコースを決定します。希望者が集中した場合には第2希望・第3希望のコースに所属することもあります。また、コースで学ぶなかで、転コースした方がより適切な指導を受けられる場合には、コース変更も可能です。
- Q** 所属コースはいつ決まるのですか？変更は可能でしょうか？
- A** 所属コースは、1年次末に希望調査を行い、原則として本人の希望に応じてコースを決定します。希望者が集中した場合には第2希望・第3希望のコースに所属することもあります。また、コースで学ぶなかで、転コースした方がより適切な指導を受けられる場合には、コース変更も可能です。

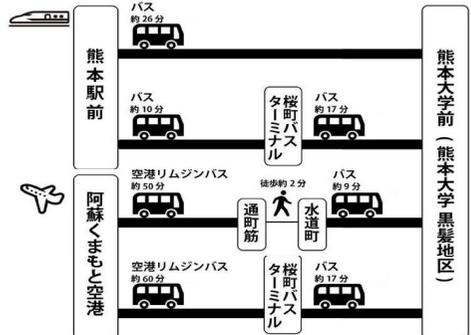
学位	取得可能な資格		
学士(文学)	①教員職員免許状 (すべて1種免許状)	英語(中・高)/国語(中・高)/社会(中)/ 地理歴史(高)/公民(高)	②学芸員資格
入学定員	③公認心理師*	*取得には大学院博士前期課程の 修了が必要です	④社会調査士
160名			

学生納付金	
入学科	授業料*
282,000円	前期分:267,900円 後期分:267,900円 / 年額:535,800円

*今後の改正等により、内容や金額が変更となる場合があります。

入試日程

	入学者選抜要項 公表	学生募集要項 公表	大学入学共通テスト	試験日程	合格発表
一般選抜前期日程	令和7年7月 (予定)	令和7年9月 (予定)	令和8年1月	令和8年2月 (予定)	令和8年3月上旬 (予定)
一般選抜後期日程				令和8年3月 (予定)	令和8年3月下旬 (予定)
学校推薦型選抜I* (*大学入学共通テストを課さない)			令和7年11月 (予定)	令和7年12月上旬 (予定)	
私費外国人留学生選抜			令和8年2月 (予定)	令和8年3月上旬 (予定)	



<お問い合わせ>
 熊本大学 教育研究支援部 人教・教育系事務課
 文学部教務担当
 〒860-8555 熊本中央区黒髪2丁目39番1号
 TEL:096-342-2317, 2323
 E-mail:jsj-bungaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp
 https://www.kumamoto-u.ac.jp



※改組構想中のため、本内容は今後変更になることがあります。

文学部が生まれ変わります！

人文科学科 (仮称)

Department of Humanities

2026年4月 改組予定！

4学科から1学科へ

- ★総合人間学科 (入学定員: 55名)
- ★歴史学科 (入学定員: 35名)
- ★文学科 (入学定員: 50名)
- ★コミュニケーション情報学科 (入学定員: 30名)

人文科学科 (仮称)

入学定員
170名

入学定員(予定)
160名

強み・特徴

<p>Point 1</p> <p>志望時点で所属学科を決めることなく、1年次に文学部を構成する学問分野を広く学んだうえで、希望のコースを選択することができる</p>	<p>Point 2</p> <p>従来からの学問体系を継承するコースを設け、専門性を深めていくことができる</p>	<p>Point 3</p> <p>幅広く豊かな教養と人文・社会科学に関する確かな専門的知識を有し、社会に貢献できる人材を育成</p>
---	--	---

※改組構想中のため、本内容は今後変更になることがあります。

未来の可能性が広がる、文学部での新たな学び。

従来の4学科から1学科へ変わることにより、志望時点で所属学科を決めることなく、1年次に文学部を構成する学問分野を広く学んだうえで、希望のコースを選択することができます。

また、組織改編後において、原則、従来からの学問体系を継承するコースを設け、専門性を深めていくことができます。

文学部(入学定員：170名)

- ★総合人間学科 (入学定員：55名)
 - 人間科学コース (哲学、心理学)
 - 社会人間学コース (倫理学、社会学、文化人類学)
 - 地域科学コース (地域社会学、民俗学、地理学)
- ★歴史学科 (入学定員：35名)
 - 歴史資料学コース (日本史学、考古学)
 - 世界システム史学コース (アジア史学、西洋史学、文化史学)
- ★文学科 (入学定員：50名)
 - 東アジア言語文学コース (日本語日本文学、中国語中国文学)
 - 欧米言語文学コース (英語英米文学、独語独文学、仏語仏文学)
 - 多言語文化学コース (比較文学、国際文化学)
- ★コミュニケーション情報学科 (入学定員：30名)
 - コミュニケーション情報学コース (コミュニケーション情報学)
 - 現代文化資源学コース (現代文化資源学)

1学科へ

文学部

人文科学科 (仮称)
(入学定員：160名)

- 人間科学コース
- 社会人間学コース
- 地域科学コース
- 歴史資料学コース
- 超域歴史学コース
- 東アジア言語文化学コース
- 欧米言語文化学コース
- 多言語文化学コース
- 現代文化資源学コース

● 1年次に教養科目及び各コースの基礎的な知識を学ぶ「概論」、「概説」に加え、大学での学習の基礎を修得する「文章作成演習」を開講します。また、原則として学生の希望に応じてコース分けを実施し、2年次から専門コースに所属します。

人文科学科カリキュラム構成 (案)



◆卒業認定・学位授与の方針 DP(ディプロマ・ポリシー) (抜粋)

文学部は、学士課程教育において、人文・社会科学諸分野を横断する包括的・総合的な教育・研究を展開し、「創造的な知性をもって自ら課題を発見し解決する実践的な能力及び現代を生きる人間に必要なグローバルな視野と市民的公共心を備え、他者と共有、共感しあい、社会や心の豊かさを探求することができる」人材の育成を目標としています。

このことを踏まえ、教養教育にて修得する幅広い分野の知識を素地とし、各コースにおいて修得する分野の特性に応じた知識・能力に基づいて本学が定める学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した人に学士(文学)の学位を授与します。

◆教育課程編成・実施の方針 CP(カリキュラム・ポリシー) (抜粋)

文学部は、現代の人間・社会のあり方、歴史社会のあり方、人間の言語・文化のあり方を論理的に分析できる人材を養成するために、各コースの学問体系を基盤とした教育課程を編成しています。1年次には、幅広い知識や多様な考え方・アプローチ・方法を獲得・理解するための教養教育科目ならびに文学部で開講する各学問領域の基礎的専門科目を全て履修できるようにし、2年次に全てのコースから配属先を選択できるように配置します。3・4年次には、高度な専門的授業科目を置き、将来の進路に即した科目履修を保証するように編成しています。そのため、各コースが挙げる体系的性、段階性、個別化(進路への対応)をもとにカリキュラムを編成しています。

◆入学者受入れの方針 AP(アドミッション・ポリシー) (抜粋)

文学部では次のような人を求めます。

1. これまでに幅広く学習に取り組み、本学部の授業を受けることができる学力を有する人。
2. 人間・社会のあり方、歴史社会のあり方、人間の言語・文化のあり方、現代社会の課題解決に関心が高い人。
3. 専門的知識の修得に意欲を持ち、修得した知識・能力を将来の進路に活かそうとする意欲が高い人。

カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
人文科学科	1年次には、幅広い知識や多様な考え方・アプローチ・方法を獲得・理解するための教養教育科目(基礎科目、現代教養科目、リベラルアーツ科目、キャリア科目、Multidisciplinary Studies、開放科目など)ならびに上記の文学部で1年次に開講する各学問領域の基礎的専門科目を履修します。	希望するコースに所属し、コースにおける専門基礎科目、専門科目(基盤科目、展開科目)を履修します。	2年次から履修する科目に加えて、卒業論文の執筆に向けた課題研究を行います。	専門科目(展開科目)を履修するとともに、卒業論文の執筆に向けた課題研究を行い、卒業論文を執筆します。
	学生の希望に応じて、以下の科目を受講することができます。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択科目(文学部や他学部の専門教育科目) ・ 学部共通科目(ジェンダー入門 等) ・ 資格科目(教員免許科目、社会調査士資格科目、学芸員資格科目、公認心理師資格科目) 			

卒業後の進路

